

## 科学技術関係人材専門調査会の今後の審議の進め方について

### 1 経緯

昨年12月開催の総合科学技術会議本会議において、井村会長名で「科学技術関係人材専門調査会の審議における主な論点について」が報告された。

同文書では、「今後の検討課題(例)」として、次の7点が例示されている。

若手研究者の自立性の向上のための支援の在り方  
ポストドクトラル・フェロー制度の今後の在り方  
日本版のテニユア制度の確立に向けた方策  
多様性の向上を実現する方策(任期制や他分野からの人材の登用と  
その問題点)  
産業界の積極的協力と参画を確保する方策  
科学技術関係人材の裾野の拡大と理解増進施策との整合的な推進  
博士課程に優秀な人材が進むことを可能とする支援策

上記は、ア)これまでの審議では調査・検討に着手した段階にあるもの、及び、イ)これまでの審議を深めて具体化のための方策を審議すべきもの、と位置付けられる。

### 2 今後の重点的審議事項の案

#### (1) 博士課程における人材育成の充実について

学生への経済的支援  
人材育成に関する産業界との連携

#### (2) 科学者・技術者のキャリア・パスについて

ポストドクターの位置付けと支援策  
若手科学者・技術者の能力発揮と「テニユア制」  
多様性・創造性を育むための流動性向上策

これらの他に、今後重点的に審議すべき事項が考えられるか。

### 3 今後の審議スケジュールについて

#### (1) 前提

6月を目処に、総合科学技術会議（本会議）において決定・意見具申がなされることを念頭に置く。

概ね月1回のペースで当専門調査会の審議を行う。

#### (2) 審議スケジュールのイメージ

上のような前提に立てば、今後の審議スケジュールについては、次のようにイメージすることができる。

- 第5回 1月29日（木）13：30～15：30  
・ 今後の審議の進め方について
- 第6回 2月25日（水）10：00～12：00  
・ 博士課程における人材育成の充実について（1）
- 第7回 3月24日（水）10：00～12：00  
・ 博士課程における人材育成の充実について（2）  
・ 科学者・技術者のキャリア・パスについて（1）
- 第8回 4月 日時未定  
・ 科学者・技術者のキャリア・パスについて（2）
- 第9回 5月 日時未定  
・ 科学者・技術者のキャリア・パスについて（3）  
・ 当専門調査会の「取り纏め（骨子）」について
- 第10回 6月 日時未定  
・ 当専門調査会の「取り纏め（案）」について

第10回後、直近の総合科学技術会議（本会議）において審議  
[ 決定・意見具申 ]

上記のスケジュールのイメージに関し、特に考慮すべき点はあるか。